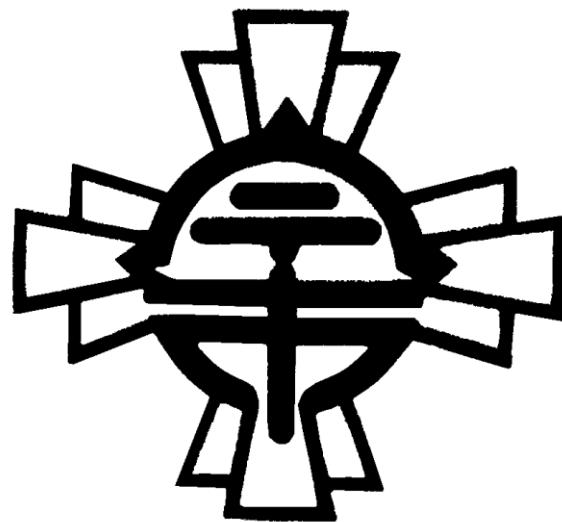


令和2年度

「運営に関する計画」
【最終反省】



大阪市立今市中学校
令和3年3月

大阪市立今市中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題として、“**生徒の学力向上**”、“**仲間を思いやる心を育てる**”、“**教員の授業力向上**”の3点があげられる。本校は、個性を尊重し、互いに敬愛協力する教育活動を推進し、保護者・地域と連携を深め、豊かな学校生活の実現に努めてきた。

“**生徒の学力向上**”のため、**小中連携、ICT機器の活用**を中心に進めていきたい。

昨年度から**小中連携**による体力の向上を目的に、体育科の教員を校区小学校に派遣して授業を行ってきた。また、それにより、校区小学校の体力向上や生活指導面での交流を深めることができた。本年度は、大阪市初の取り組みとして数学科教員が、小学校に算数科を教えに行くことになった。**小中連携**により義務教育9年間を見通した**学力向上**を図っていきたい。

ICTの機器の活用に関しては、昨年度全ての普通教室にプロジェクターと巻き取り型スクリーンの設置が完了した。また、「がんばる先生支援」研究支援事業を数学科で受ける中で、タブレットドリルによる反復学習を行う基礎ができた。今年度は、中学校だけではなく小学校においてもその取り組みを広げていき、**ICT機器の活用**を通して**生徒の学力向上**を図っていきたい。

“**仲間を思いやる心を育てる**”ために自主的活動を増やす。昨年度の校内アンケート「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」に対して肯定的な回答をした生徒は68%しかいない現状がある。学校生活において生徒自身がお互いに関わる自主的活動を増やすために今年度は班活動に力を入れていきたい。

“**教員の授業力向上**”のために、本年度も「がんばる先生支援」研究支援事業に申請すると共に、リーディングスキルやICTを用いた授業づくりの研究に取り組んでいきたい。また、変化の激しい時代だからこそ、最新の専門知識や指導技術等を身に付けていくことが重要となっており、積極的に外部の進んだ研究を取り入れていく。また、そこで培った「学びの精神」を教職員全員で共有し、生徒のために教職員が学び続けることが可能な環境を作っていく必要がある。

中期目標

〔 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 〕

大阪市

○令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

➡**令和2年度、本校のいじめが解消した割合は100%となり目標を達成できた。引き続き、いじめのない学校づくりを行うと共に、いじめの早期発見、早期解決を実現していく。**

○令和2年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。

➡**令和2年度教育活動アンケート「学校のルールを守っている」において、肯定的回答は、94%となった。目標達成にわずかに届かなかった。「わからない」と回答した生徒が2%いることから、引き続き「学校のきまり・規則を守る」生徒を育成していく必要がある。**

○令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成28年度より減少させる。

➡**令和2年度本校において、暴力行為を複数回行う生徒は0名だった。平成28年度も暴力行為を行う生徒は0名だった。**

○令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成28年度より減少させる。

➡**令和2年度本校において、新たに不登校となった生徒の割合は、1.439%となった。**

今市中学校

○令和2年度の文部科学省学力学習状況調査の生徒質問紙の「いじめは絶対にあってはいけない」という項目について、平成28年からの4年間で肯定的回答を95%以上にする。

➡**令和2年度、学力学習状況調査は実施されなかったが、校内における教育活動アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」において、肯定的回答は94%となり目標を達成することができなかった。わからないと答えた生徒が3%いたことから、引き続きいじめにNOと言える活動を行っていく必要がある。平成28年においては、92.8%だったため、肯定的回答は増加している。**

○令和2年度の校内調査において、不登校の状態にある生徒を平成28年からの4年間で全体の5%以下に減少させる。

➡**令和2年度、不登校の状態にある生徒の割合は、5.99%となった。**

○令和2年度の校内アンケートで「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と回答する生徒を平成28年からの4年間で81%以上にする。

➡**令和2年度、校内アンケート「学校生活を通して、人を思いやる心が育っている」において、肯定的回答は80%となり目標達成できなかった。「わからない」と答えた生徒が13%いるため、引き続き人を思いやる心を育てていきたい。平成28年度は、78.3%だったため肯定的回答は増加している。**

○令和2年度の校内アンケートで「学校が楽しい」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で87%以上にする。

➡**令和2年度、校内における教育活動アンケート「学校生活が楽しい」において、肯定的回答は85%となり目標を達成できた。平成28年度は、83.2%だったため肯定的回答は増加している。**

○令和2年度の校内アンケートで「学校の規則を守っている」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で86%以上にする。

➡**令和2年度教育活動アンケート「学校のルールを守っている」において、肯定的回答は、94%となり目標を達成することができた。平成28年度は、86.4%だったため肯定的回答は増加している。**

○令和2年度において、部活動の充実を図り、平成28年からの4年間で参加生徒の割合を90%以上にする。

➡**令和2年度の部活動加入率は、88%となり目標を達成できなかった。1年生99%、2年生**

81%、3年生85%の加入率となっている。平成28年度は、88%だったため加入率に変化はなかった。

[心豊かに生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上]

大阪市

○令和2年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成28年度よりも向上させる。

➡3年生はチャレンジテストが中止となった。2年生は、昨年度に比べて3教科で+2.9ポイントとなった。

○令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を、いずれの学年も平成28年度より2ポイント減少させる。

➡3年生はチャレンジテストが中止となった。2年生は、昨年度に比べて3教科で-2.9ポイントとなった。

○令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を、いずれの学年も平成28年度より2ポイント増加させる。

➡3年生はチャレンジテストが中止となった。2年生は、昨年度に比べて3教科で+3ポイントとなった。

○令和2年度の学校生活アンケートにおける「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成28年度3年生の数値よりも上昇させる。

➡本年度、校内アンケートにおいて、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます」として肯定的に回答した生徒は75%となった。平成28年度の60.1%から、14.9ポイント向上しており目標を達成した。

○令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、大阪市平均を下回る項目を平成28年からの4年間で2項目以下に減少させる。

➡令和2年度の全国体力・運動能力、学習習慣調査は中止となった。平成28年度は、男子5項目、女子4項目において大阪市平均を下回っていた。

今市中学校

○令和2年度の全国学力学習状況調査において、自分で計画的に家庭学習に取り組む生徒の割合を平成28年度からの4年間で5ポイント上昇させる。

➡令和2年度の全国学力学習状況調査は中止となった。平成28年度は、41.3%。

○令和2年度の全国学力・学習状況調査において、「読書が好き」と回答する生徒の割合を平成28年度からの4年間で5%上昇させる。

➡令和2年度の全国学力学習状況調査は中止となった。平成28年度は、60.9%。

○令和2年度の校内アンケートで「授業がわかりやすく楽しい」と回答する生徒の割合を平成28年度からの4年間で10ポイント上昇させる。

➡令和2年度の校内アンケート「授業がわかりやすく楽しい」に対して肯定的に答えた生徒74%となった。平成28年度は55.5%のため、18.5ポイント上昇し目標を達成した。

○令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、大阪市平均を下回る項目を平成

28年からの4年間で2項目以下に減少させる。

→令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査は中止となった。

○令和2年度の校内アンケートで「健康や安全に気をくばっている」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で5ポイント上昇させる。

→令和2年度の校内アンケート「健康や安全に気をくばったり、心づかいをしている」に対して肯定的に答えた生徒は88%となった。平成28年度の80.3%と比較して7.3ポイント上昇しており目標を達成した。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

[子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現]

全市共通目標

○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

→令和2年度、本校のいじめが解消した割合は100%となっている。引き続き、いじめのない学校づくりを行うと共に、いじめの早期発見、早期解決を実現していく。

○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を95%以上にする。

→令和2年度教育活動アンケート「学校のルールを守っている」において、肯定的回答は、94%となった。「わからない」と回答した生徒が2%いた。

○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

→令和2年度本校において、暴力行為を複数回行う生徒は0名となり、昨年度の1名よりも減少した。

○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

→令和2年度、新たに不登校となった生徒の割合は、1.439%となり、昨年度の0.75%より0.689%増加した。

学校の年度目標

○自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。

・令和2年度全国学力学習状況調査の生徒質問用紙において「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を93%以上にする。

→全国学力学習状況調査は中止となったが、校内アンケート「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」において、肯定的回答は94%となった。

・令和2年度において不登校の状態にある生徒を全校生徒の4%以下にする。

→令和2年度において不登校の状態にある生徒は、全校生徒の5.99%となった。

・令和2年度の校内アンケートにおいて「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を85%以上にする。

→令和2年度の校内アンケート「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」において、肯定的回答は86%となった。

・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」

と答える生徒の割合を 75%以上にする。

➡**令和2年度の校内アンケート「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」において、肯定的回答は 80%となつた。**

○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる

・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校のルールを守っている」と答える生徒の割合を 85%以上にする。

➡**令和2年度の校内アンケート「学校のルールを守っている」において、肯定的回答は 94%となつた。**

・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を 80%以上にする。

➡**令和2年度の校内アンケート「学校生活が楽しい」において、肯定的回答は 85%となつた。**

・令和2年度の保護者アンケートにおいて「子どもは学校生活が楽しいと言っている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。

➡**令和2年度の保護者アンケート「子どもは学校生活が楽しいと言っている」において、肯定的回答は 82%となつた。**

・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を 65%以上にする。

➡**令和2年度の校内アンケート「授業がわかりやすく、楽しい」において、肯定的回答は 82%となつた。**

【 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 】

全市共通目標

○令和2年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

➡**3年生はチャレンジテストが中止となつた。2年生は、昨年度に比べて3教科で+2.9ポイントとなつた。**

○令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。

➡**3年生はチャレンジテストが中止となつた。2年生は、昨年度に比べて3教科で-2.9ポイントとなつた。**

○令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より、2 ポイント増加させる。

➡**3年生はチャレンジテストが中止となつた。2年生は、昨年度に比べて3教科で+3ポイントとなつた。**

○令和2年度の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。

➡**令和2年度、校内アンケートにおいて、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、**

「広げたりすることができている」に対して、肯定的に回答した生徒は 75% となった。昨年度の 63% から 12 ポイントの向上となった。

○令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする。【全国学力・学習状況調査が実施されなかつたため目標を再設定】

→ 50m走の調査を実施し、昨年度の結果よりも 0.1 ポイント向上させる。

→ 男子は、令和元年度 8.10 秒から令和 2 年度 8.07 秒、女子は令和元年度 9.09 秒から令和 2 年度 8.97 秒となり、女子は目標を達成できたが、男子は目標を達成できなかつた。

学校の年度目標

○基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる。

・令和 2 年度の校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」と答えた生徒の割合を 85% 以上にする。

→ 令和 2 年度の校内アンケート「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」において、肯定的回答は 86% となり目標を達成した。

・令和 2 年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を 65% 以上にする。

→ 令和 2 年度の校内アンケート「授業がわりやすく、楽しい」において、肯定的回答は 74% となり目標を達成した。

・令和 2 年度の全国学力・学習状況調査の結果において「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目について「よくわかる（好き）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。

→ 全国学力・学習状況調査が実施されなかつた。

○令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする。【全国学力・学習状況調査が実施されなかつたため目標を再設定】

→ 50m走の調査を実施し、昨年度の結果よりも 0.1 ポイント向上させる。

→ 男子は、令和元年度 8.10 秒から令和 2 年度 8.07 秒、女子は令和元年度 9.09 秒から令和 2 年度 8.97 秒となり、女子は目標を達成できたが、男子は目標を達成できなかつた。

3 本年度の自己評価の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

いじめが解消した割合については、昨年度に引き続き 100%となり、目標を達成することができた。年に 3 度のいじめアンケートを実施することにより、いじめの早期発見、早期解決を目指している。また、週に 1 度金曜日に「1 週間の振り返り」プリントを全学年で実施することで、生徒の日々の悩みやクラスの状況を伝えやすい状況をつくっている。

学校のルールに関しては、ほとんどの生徒が守っており肯定的な回答は 94%となり、1%届かなかったが、落ち着いて学校生活が送れる環境が整備されている。また、暴力行為を複数回行う生徒に関しては、昨年度から減少し 0 となり、全ての学年において落ち着いた環境となっている。

新たに不登校になる生徒の割合については、昨年度の 0.75%から 1.439%と増加している。不登校生徒対策として、不登校生徒を減少させるための未然防止、早期発見の取組みと共に、不登校生徒の教育の機会確保を実現していきたい。

学校の年度目標

校内アンケートにおいていじめに対して否定的にとらえる割合が 94%となり、目標を達成することができなかつたが、「わからない」と答えた生徒が 3 %いたことから、改めていじめに対して NO と言える生徒を育てていきたい。

不登校の状態にある生徒は、全校生徒に対して 5.99%となり、平成 29 年度の全国平均 3.25%、大阪府平均 3.55%、大阪市平均 5.14%と比較しても高い割合となっている。不登校生徒減少対策と不登校生徒の教育機会確保の 2 点において来年度以降重点的に教育活動を行っていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較した結果、2 年生は、3 教科において +2.9 ポイントとなり全体の成績が向上している。3 年生はチャレンジテストが中止となつたため比較はできなかつた。また、中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較した結果、2 年生は、昨年度に比べて -2.6 ポイントとなり昨年度から減少させることができた。中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較した結果、2 年生は、+3 ポイントとなり、昨年度から増加させることができた。

今年度のチャレンジテストにおいて、2 年生は昨年度に比べて 3 教科平均 + 2 ポイントとなり、大阪府の平均と比較しても -0.6 ポイントとなっている。1 年生は、3 教科平均で大阪府平均と比較して +2.8 ポイントとなっている。学力向上に関して、すららドリルのモデル校や、がんばる先生支援事業に選定される中で、学校をあげて取り組んでいることが徐々に数字に表れてきている。

話し合い活動に関しても、昨年度の 63%から 75%と 12 ポイントの大幅な上昇が見られる。主体的・対話的で深い学びの実現のために、様々な教科で話し合い活動を実践していることが数字に表れてきている。

運動能力に関しては、今年度全国体力・学習状況調査が実施されなかつたため、目標の再設定を行つた。50m走の調査を実施し、男子は昨年度 8.1 秒から 8.07 秒、女子は 9.09 秒から 8.97 秒と記録を伸ばすことができた。今後も、運動能力の改善に努めていきたい。

学校の年度目標

昨年度の校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」において、79%から今年度 86%になり 7 ポイント上昇している。また、「授業がわかりやすく、楽しい」においても、昨年度の 66%から今年度 74%となり 8 ポイント上昇している。ICT の活用はもちろん各教科において様々な教材研究・授業研究が行われている成果である。

運動能力に関しては、今年度全国体力・学習状況調査が実施されなかつたため、目標の再設定を行つた。

大阪市立今市中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった		B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
年度目標	達成状況	
<p>[子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現]</p> <p>全市共通目標</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p>		
<p>学校の年度目標</p> <p>○自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度全国学力学習状況調査の生徒質問用紙において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 93%以上にする。 ・令和2年度において不登校の状態にある生徒を全校生徒の 4 %以下にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合を 75%以上にする。 <p>○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校のルールを守っている」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 ・令和2年度の保護者アンケートにおいて「子どもは学校生活が楽しいと言っている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を 65%以上にする。 	B	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任だけではなく、学年教師全体で生徒指導にあたる。 ・生徒の些細な変化やSOSを見逃さないために「一週間の振り返り」を活用する。 ・様々な学校行事において、班単位で活動を行うことで、仲間を思いやる心を育てる。 ・生徒会を中心に「いじめゼロ」を目指す取り組みを引き続き行っていく。 	B
<p>指標 令和2年度校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>➡肯定的な回答をした生徒は、85%となり目標を達成できた。前年度81%から4ポイント増加した。否定的な回答は12%、わからない5%であった。</p>	B
<p>取組内容②【施策 3 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のマナーやルールについて指導する。 ・外部講師を招く機会を増やし、学校の教職員以外の方と触れ合う機会を増やす。 ・開かれた学校づくりを目指す中で、地域とのつながりを増やしていく。 ・場面に応じた、正しい言葉を使えるように指導する。 	B
<p>指標 校内アンケートにおいて「社会のマナーやルールを守っている。」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>➡肯定的な回答をした生徒は、94%となり目標を達成できた。前年度93%から1ポイント増加した。</p>	B
<p>取組内容③【施策 2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、生徒が活躍できる「学校行事」を積極的に企画し推進する。特に、生徒の自主的活動を推し進めていく。 ・泊を伴う行事や、運動会、合唱コンクール、文化祭など、全員が達成感を得られるように努めると共に、生徒が「安全」に「安心」して取り組める環境整備を行う。 	B
<p>指標 校内アンケートにおいて「運動会や、合唱コンクール文化祭や宿泊行事が楽しい」と答える生徒の割合を85%以上にする。</p> <p>➡肯定的な回答をした生徒は、89%となり目標を達成できた。前年度の86%から3ポイント増加した。</p>	B
<p>取組内容④【施策 3 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞を行う。 ・道徳の授業、人権教育を積極的に行う。 ・全ての社会生活の基礎となる、「人を思いやる心」を育てる 	A
<p>指標 校内アンケートにおいて「学校生活を通して、人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合を75%以上にする。</p> <p>➡肯定的な回答をした生徒は、80%となり目標を達成できた。前年度の68%から12ポイント増加となり大きく改善した。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【全市共通目標について】

いじめの認知については100%解決することができた。これからも、毎週末に実施する「1週間の振り返り」のプリントなどを活用して早期発見・早期解決に努めていきたい。また、学校の決まりに関する多くの生徒が守っており、昨年度よりもさらに落ち着いた学校生活を送る環境が整ってきている。暴力行為に関する複数回行う生徒はいなかった。

新たに不登校になる生徒に関しても、前年度0.75%から1.439%と増加した。これは、コロナ禍による影響も大きいが、引き続き丁寧な対応を続けていく必要がある。また、不登校生徒の全校生徒に占める割合は6%となり、平成29年度の全国平均3.25%、大阪府平均3.55%、大阪市平均5.14%と比較しても高い割合となっている。不登校生徒減少対策と不登校生徒の教育機会確保の2点において来年度以降重点的に教育活動を行っていく必要がある。

【学校の年度目標について】

○自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる

「いじめはどんな理由があってもいけないことだとおもいますか」という問い合わせに対する肯定的な回答が93.7%となり、改めて「いじめに対してNOと言える」取り組みを進めていく必要がある。不登校生徒の割合は3.5%となっているが、全ての生徒が安心して通える学校づくりを進めていく。部活動や係・委員会活動については88%の生徒が積極的に参加していると答えており、また、「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合は68%となった。学校生活を通して、人を思いやり「こころを育てる」教育を行っていく必要がある。

○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる

「学校のルールを守っている」と答える生徒は92%となり、多くの生徒がルールを守って学校生活を送っている。「学校生活が楽しい」と答える生徒も81%となっている。中学校が楽しいと感じるためにも安全・安心な学校づくりを引き続きしていく必要がある。保護者アンケートにおいて「子どもは学校生活が楽しいと言っている」と答える保護者の割合は、82%であった。生徒の満足度を上げることが大切であり、引き続ききめ細やかな対応をしていく必要がある。「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合は74%であった。いかに、授業をわかりやすく楽しくしていくのか、授業力の向上が必要である。

次年度への改善点

- ・生徒が安全・安心に通える学校づくり
- ・不登校生徒へのきめ細やかな対応
- ・不登校生徒を増やさないためのセーフティーネットづくり
- ・不登校生徒への家庭でのAIドリルを用いた学習支援
- ・いじめにNOと言える学校づくり
- ・がんばる姿はかっこいいと言える学校づくり
- ・こころを育てる教育の推進
- ・生徒が中学校を楽しい思える学校づくり
- ・開かれた学校づくり=中学校の可視化
- ・授業に対する満足度の向上=指導力の向上
- ・授業がわかりやすく楽しいと答える生徒80%以上を目指す

大阪市立今市中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和2年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>○令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より、2ポイント増加させる。</p> <p>○令和2年度の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。</p> <p>○令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする。</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」と答えた生徒の割合を85%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を65%以上にする。 ・令和2年度の全国学力・学習状況調査の結果において「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目について「よくわかる（好き）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。 <p>○令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館を有効に活用できる環境を整備し、読書に親しむ習慣や図書館活動を活性化させ、“生徒の学力向上”ならびに“言語力の育成”を図る。 学校元気アップコーディネーターとの連携を通して、図書館でのタブレット学習を導入できる環境を整え、放課後学習会にも力を入れる。 <p>指標 全国学力・学習状況調査において「本を読むことが好きだ」と答える生徒の割合を60%以上にする。</p> <p>→本年度、全国学力・学習状況調査が実施されなかったが校内アンケートにおいて肯定的回答が、69%となり目標を達成した。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> “主体的・対話的で深い学び”を実現するために、生徒間の「学び合い」を指導の主眼において活動を教科指導に取り入れていく。 話し合い活動を行うために、机の高さを揃えるなど、教室で4人グループを作りやすいように環境整備を行っていく。 <p>指標 全国学力・学習状況調査の結果において「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の問い合わせに肯定的に答える生徒の割合を全国平均以上にする。</p> <p>→本年度、全国学力・学習状況調査が実施されなかったが校内アンケートにおいて肯定的回答が、75%となった。昨年度は62.1%とだったため大幅に数字が改善された。昨年度、大阪府平均67.5%、全国平均72.8%と比べると目標は達成できている。</p>	B
<p>取組内容③【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を教師が授業において積極的に活用する。 数学のタブレットドリルを活用することで自宅においても勉強できる環境を整えていく。 自宅でのインターネットを用いた家庭学習の可能性について探っていく。 	B
<p>指標 校内アンケートにおいて「ICT機器（プロジェクターやタブレット）の利用により、授業に対する興味関心が高まったと思う。」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>→肯定的な回答をした生徒は、74%となった。昨年度の63%から比べると、11ポイント増加となったが目標を達成することができなかった。目標設定の数値が高すぎたこともあり来年度見直しを行いたい。</p>	B
<p>取組内容④【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健体育の授業において補強運動、柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。 保健体育に対する苦手意識を減らすために専門的指導を行うことで運動能力を高めるなど結果を出し、生徒の関心意欲を高める工夫を行う。 	B

指標 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする。【全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったため、目標の再設定を行った。】

50m走の調査を実施し、昨年度の結果よりも0.1ポイント向上させる。

→男子は昨年度8.1秒から8.07秒、女子は9.09秒から8.97秒と記録を伸ばすことができた。今後も、運動能力の改善に努めていきたい。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【全市共通目標について】

中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較した結果、2年生は、3教科において+2.9ポイントとなり全体の成績が向上している。3年生はチャレンジテストが中止となつたため比較はできなかった。また、中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較した結果、2年生は、昨年度に比べて-2.6ポイントとなり昨年度から減少させることができた。中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較した結果、2年生は、+3ポイントとなり、昨年度から増加できた。

校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答は75%となった。

運動能力に関しては、今年度全国体力・学習状況調査が実施されなかつたため、目標の再設定を行つた。50m走の調査を実施し、男子は昨年度8.1秒から8.07秒、女子は9.09秒から8.97秒と記録を伸ばすことができた。今後も、運動能力の改善に努めていきたい。

【学校の年度目標について】

○基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる

校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」と答えた生徒の割合は86%となっており、昨年度の79%から7ポイント向上した。引き続き指導力の向上・教材研究をすすめる必要がある。

校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合は74%だった。昨年度の66%から8ポイント向上した。いかに、授業をわかりやすく楽しくしていくのか、授業力のさらなる向上が必要である。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が全国平均を上回るようにする

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となつたため、目標の再設定を行つた。】

○50m走の調査を実施し、昨年度の結果よりも0.1ポイント向上させる。

男子は昨年度8.1秒から8.07秒、女子は9.09秒から8.97秒と記録を伸ばすことができた。今後も、運動能力の改善に努めていきたい。

次年度への改善点

- ・学力向上に向けて教員の授業力向上
- ・本年度、読解力に重点を置いた教科横断的視点を持った授業改善[今市カリキュラム]
- ・「授業の内容がよくわかる」と答えた生徒の割合が高い授業の参観、分析
- ・1人1台パソコンを用いた発展的学習や、デジタルドリルを活用した学習
- ・運動能力向上のため、体育科での情報交換、情報共有
- ・小学校専科の授業において専門性を伝える中で、小中9年間を見通す。
- ・若手教員の指導力向上のため、全国大会や研修会への積極的参加を促す。
- ・がんばる先生支援事業等に積極的に応募する中で教員の指導力・授業力向上。